

ネイチャーセンターだより



春国岱・風蓮湖 生きもの図鑑

キバシリ

英名：Tree Creeper 学名：Certhia familiaris



スズメくらいの^{おお}大きさの^{ことり}小鳥で、^{いちねんじゅうねむろ}一年中根室
で見ることができます。体^みの色は^{からだ}地味な^{いろ}茶色で
すが、木^きの皮^{かわ}そっくりな^{ふくざつ}複雑な^{もよう}模様の^{せなか}背中は、^{てき}
の^め目を^{あざむく}あざむくための^{ほごしょく}保護色^なになっています。

木^きの^{みき}幹^{ねもと}を^{しょう}根元^{じょう}から「らせん状」^{じゅう}にくるくると
の^{ぼり}ぼりながら、^{じゅうひ}樹皮^{すきま}の^{こんちゅう}隙間^{ちゅう}にいる^{こんちゅう}昆虫^{ちゅう}やクモ^{ちゅう}を
つかまえて^た食べます。

^{しんようじゅ}針葉樹^{こうようじゅ}と^ま広葉樹^{もり}が^{まじ}混じる^{もり}森^をを好み、
^{しぜんがくしゅうりん}自然学習林^{しゅんくにたい}や春国岱^{すがた}でも^み姿^をを見かけます。



ネイチャーセンター日記

^{しよが}初夏^ふ、^{あめ}しとしとと^{きぎ}降る^{みどり}雨に^{うつく}木々の^{うつく}緑が^{きせつ}美しい^{きせつ}季節^でで
す。ネイチャーセンター^{まえ}前の^{きぎ}木々も^{あた}新しい^め芽を^の伸ばし
はじめました。^{きみどりいろ}黄緑色^{あざ}の^め鮮やかな^{やわ}芽は、^{やわ}なんだか^{やわ}柔らかく
て^{おい}おいしそう！^{さつそく}さつそく、^{ことり}小鳥^{たち}たちが^ややってきて、^{つぎ}次から
^{つぎ}次^{くち}へと^{くち}口に^ほほおぼります。^{ころん}ころんと^{まる}丸い^{からだ}体^{つき}つきの^{ウソ}ウソ
の^{ふうふ}夫婦^やや、^{にぎ}にぎやかな^{シジユウカラ}シジユウカラ、^{とき}ときには^{ニウナ}ニウナ
イスズメも^ややってきて、^{しよが}初夏^{きぎ}の木々^{ことり}は^{まる}まるで^{ことり}小鳥^{にとつ}にとつ
ての^{レストラン}レストランです。^た食べ^められた^{あた}芽が^めまた^{あた}新しい^め芽を
の^の伸ばす^{ころ}頃、^{ふた}再び^{ことり}やってくる^{ことり}小鳥^{たち}たち……
ちゃん^{しゅん}と^{あじ}旬^{こころえ}の味^をを^{こころえ}心得^てている^{よう}ようですね。



しゅんくにたい ～春国岱クイズ～

^{こんげつ}今月の^い「生きもの^{ずかん}図鑑」^{しょうかい}で紹介^{した}した^{キバ}キバ
シリ^{むし}。虫^をを^た食べる^{ただ}キバシリ^のの^{ただ}正しい^{クチバ}クチバ
シ^{かたち}の^{つぎ}形^はは^{つぎ}次の^{うち}うち^{どれ}どれ^でで^{しょう}しょう？

1. ^{ほそ}細い^{がた}ピンセット型



2. ^{すど}鋭い^{がた}カギ型

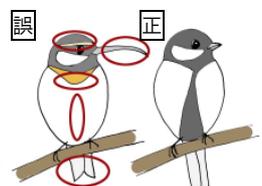


3. ^{ふと}太い^{がた}ペンチ型



ヒント

^{ちい}小さな^{すきま}隙間^にに^{むし}いる^{むし}虫を、^つつ
^ままみ^だ出して^た食べる^{んだ}んだ！



^{こた}答え^{らいげつごう}は来月号

(^{せんげつごう}先月号^のの^{こた}答え)

ネイチャーセンターからのお知らせ

フィールド講座① セイヨウオオマルハナバチを知ろう

6月6日の土曜日、セイヨウオオマルハナバチについての学習会を行いました。セイヨウオオマルハナバチは、トマトなどハウス野菜の受粉のために、ヨーロッパから持ち込まれた外来生物です。北海道でも「セイヨウオオマルハナバチ バスターズ」としてボランティアを募り、監視活動と防除活動を行っています。今回の講座では、羅臼町自然環境専門指導員の金澤裕司さんを講師としてお迎えし、セイヨウオオマルハナバチの生態や他のマルハナバチとの見分け方などをスライドや標本を使って教えていただきました。

ハチを捕獲するための道具や、捕獲した際の注意点を確認したあとは、実際に野外でハチを捕まえる練習です。ネイチャーセンター前にいたアカマルハナバチを見本に、二班に分かれて網の使い方を練習しました。

セイヨウオオマルハナバチは5月30日に、春国岱でも女王が確認されており、今後、根室でのさらなる分布の拡大が心配されます。対策としては、地道な捕獲と防除しかないため、多くの方の協力が必要です。もし、見つけましたら、まずはネイチャーセンターまでご連絡ください。



野外での捕獲練習のようす



セイヨウオオマルハナバチ
お尻の先が白いのが特徴

ボランティアの活動

■ ラブアース・クリーンアップ in 北海道 ■

「ラブアース・クリーンアップ」は、NPO 法人北海道市民環境ネットワークが主催・実施している、美しい自然環境を守ることを目的とした清掃活動です。毎年、全道民に呼びかけて、一定の期間内に一斉に、身近な環境の清掃活動を行っています。当施設のボランティアグループ「スंक」も、このクリーンアップ活動に協力しています。今年度は6月14日に春国岱で清掃活動を行いました。



当日はあいにくの雨でしたが、レンジャーとボランティア3名が木道と海岸のゴミ拾いをしました。空き缶やペットボトル、ゴム製品など、2時間で45リットルの袋10個分のゴミを回収しました。

フィールドボランティア募集中！！

風蓮湖・春国岱で活動しませんか？

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。



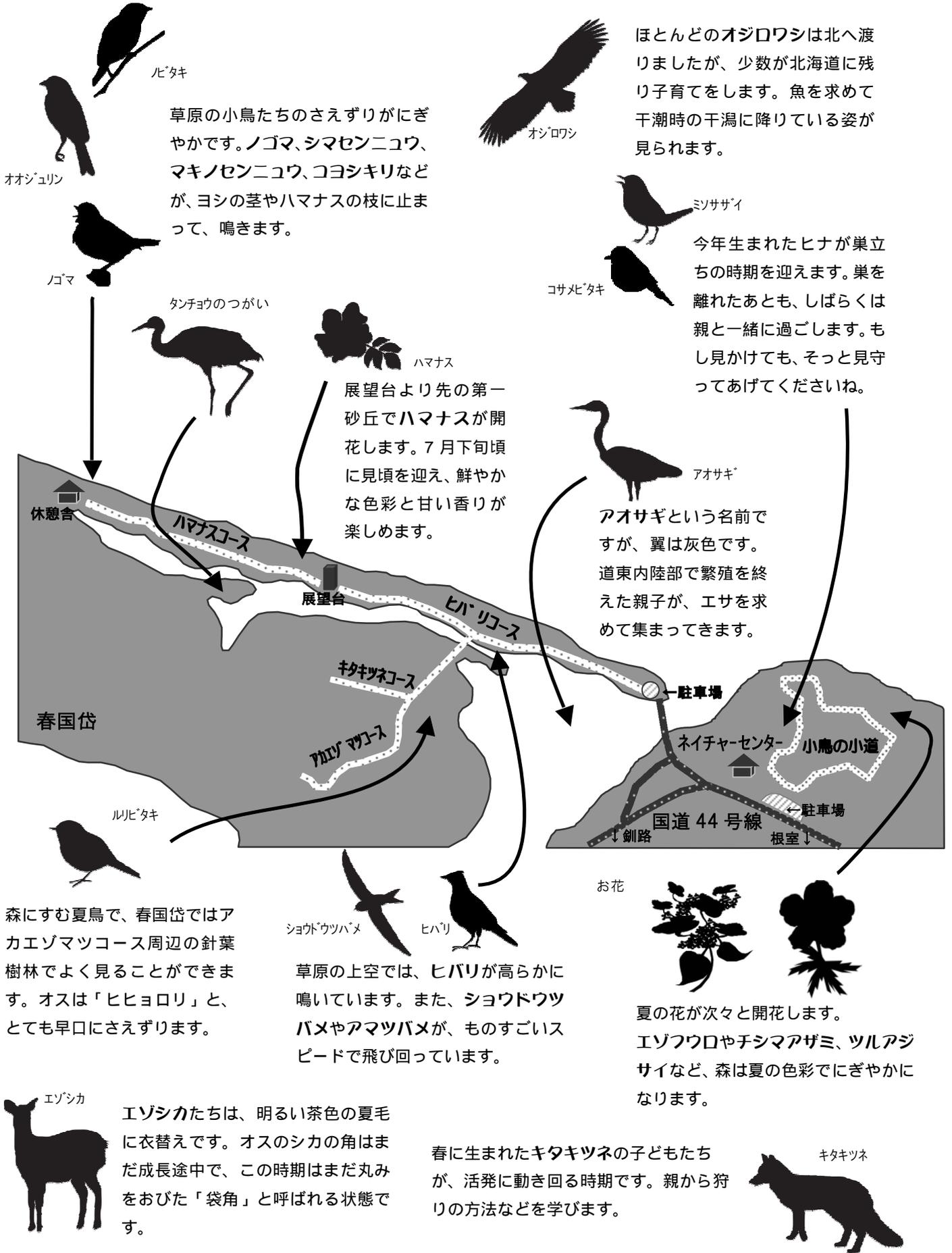
対象：高校生以上

保険料：300円（年間）が必要となります。

【お問合せ】電話 0153-25-3047



自然観察路周辺の自然情報 * 7月 *



草原の小鳥たちのさえずりがにぎやかです。ノゴマ、シマセンニユウ、マキノセンニユウ、コヨシキリなどが、ヨシの茎やハマナスの枝に止まって、鳴きます。

ほとんどのオジロワシは北へ渡りましたが、少数が北海道に残り子育てをします。魚を求めて干潮時の干潟に降りている姿が見られます。

今年生まれたヒナが巣立ちの時期を迎えます。巣を離れたあとも、しばらくは親と一緒に過ごします。もし見かけても、そっと見守ってあげてくださいね。

展望台より先の第一砂丘でハマナスが開花します。7月下旬頃に見頃を迎え、鮮やかな色彩と甘い香りが楽しめます。

アオサギという名前ですが、翼は灰色です。道東内陸部で繁殖を終えた親子が、エサを求めて集まってきます。

森にすむ夏鳥で、春国岱ではアカエゾマツコース周辺の針葉樹林でよく見ることができます。オスは「ヒヒョロリ」と、とても早口にさえずります。

草原の上空では、ヒバリが高らかに鳴いています。また、ショウドウツバメやアマツバメが、ものすごいスピードで飛び回っています。

夏の花が次々と開花します。エゾフウロやチシマアザミ、ツルアジサイなど、森は夏の色彩でにぎやかになります。

エゾシカたちは、明るい茶色の夏毛に衣替えです。オスのシカの角はまだ成長途中で、この時期はまだ丸みをおびた「袋角」と呼ばれる状態です。

春に生まれたキタキツネの子どもたちが、活発に動き回る時期です。親から狩りの方法などを学びます。

キタキツネ

イベント・展示情報

★春国岱「ぶらっと観察会」

春国岱を一緒に歩いてみませんか？小鳥たちのさえずりを聞きながら、花の季節を迎えた春国岱をお散歩します。緑いっぱいの自然の中で、根室の夏を満喫しましょう。

日時：7月11日(土)8:30～11:30

対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

定員：20名（先着順）

集合場所：根室市春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター

持ち物：外を歩ける服装、長靴、虫除け、
あれば双眼鏡・望遠鏡、図鑑

参加費：保険代100円

申込み：7月6日までに
電話にて受付

往復8kmほどを、
ゆっくり歩きます。



★海辺の生き物を見つけに行こう！

春国岱・風蓮湖の周辺の海には、たくさんの生き物たちが暮らしています。潮のひいた海岸を探検し、隠れている生き物たちを見つけて観察します。小さな魚、カニや貝……どんな生き物が潜んでいるのか、彼らのヒミツに迫ります。

日時：8月8日(土)9:00～12:00

対象：幼稚園生以上

（小学生以下は保護者同伴）

定員：20名（先着順）

集合場所：根室市春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター

持ち物：濡れても良い服装、着替え、長靴、
帽子、飲み物、

あれば、小さなバケツ・タモ網

参加費：保険代100円

申込み：8月3日までに電話にて受付



【お申込み・お問合せ】 電話 0153-25-3047 （春国岱ネイチャーセンター）

団体の方へ～解説プログラムのご案内～

- 事前にお申し込みが必要です。
- 野外での解説は、学校など自然体験を目的とした団体などに限らせていただきます。
→詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。（電話 0153-25-3047）



- ① 野外解説・自然学習（～2時間 / ～20名）
- ② 春国岱の自然（映像）（15分～25分 / ～45名）
- ③ 自然クイズラリー（約1時間 / ～50名）
- ④ タンチョウ、カモ類に関する学習ゲーム（30分～2時間 / ～20名）
- ⑤ 施設概要説明（30分～2時間 / ～45名）



～メール配信のお願い～

ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。経費削減のためご変更いただける方は、下記メールアドレスまで、ご自身のメールアドレスをお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。
連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp
※ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもご覧いただけます。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

- 住所■ 〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
- 電話■ 0153-25-3047 ■FAX■ 0153-25-8570
- HP■ http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
- メール■ nemu_nc@marimo.or.jp
- 7月の開館時間■ 9:00～17:00
- 7月の休館日■ 1・8・15・21・22・29日

